

《横浜市感染症臨時情報》

デング熱に注意

- ◇ 日本国内で海外渡航歴のないデング熱の患者さん(国内感染)が複数発生しています。
- ◇ 海外の流行地域(主に熱帯・亜熱帯地域)に渡航される方は蚊に刺されないように注意することはもちろん、国内でも蚊に刺されないように注意することが大切です。

横浜市では、市内の公園に定期的に蚊を捕獲する罠(トラップ)を設置し、横浜市衛生研究所でデング熱などの蚊媒介感染症にサーベイランスを実施しています。(横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果(平成25年6~10月))

平成26年6~8月までの速報(ヒトスジシマカについて)

☆捕獲されたヒトスジシマカ成虫の個体数:3,079匹(うち雌2,713匹)

☆デングウイルス検査結果:雌2,713匹中、すべて陰性

横浜市内のヒトスジシマカ成虫生息状況調査結果(平成26年6~8月(中間報告))

2014年度蚊媒介感染症サーベイランス結果(ヒトスジシマカ)(平成26年6~8月(中間報告))

過去の検査結果

- ・[平成25年採取分](#)
- ・[平成24年採取分](#)
- ・[平成23年採取分](#)

デング熱について

- ・[横浜市衛生研究所疾患別情報\(デング熱・デング出血熱について\)](#)
- ・[国立感染症研究所](#)
- ・[横浜市保健所](#)
- ・[厚生労働省Q&A](#)